

12

World Heritage

モン・サン・ミシェルへの旅

GOAL 世界遺産を紹介するホームページを作ろう

- 不定詞② (副詞的用法 / 形容詞的用法)
- 出典・引用を示す

この課のねらい

◆テーマ

観光地として人気の高い世界遺産の歴史や特徴を学び、自分の選んだ世界遺産を紹介するホームページを作成する。

◆言語活動【書く】

教員と生徒とのやり取り、生徒同士の話し合いを通して、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカ、オセアニア、アジアの世界遺産についての理解を深め、紹介したい世界遺産を一つ選んで、平易な英語で興味深いホームページ作成する。

◆言語材料

23 不定詞 (副詞的用法)

24 不定詞 (形容詞的用法)

不定詞 (to + 動詞の原形) には、Lesson 11 で取り上げた名詞的用法の他に、副詞的用法と形容詞的用法がある。本課ではこれらの用法に慣れることをねらいとしている。

◆機能表現

出典・引用を示す

報告や調査、第三者の意見を示して「～によれば」を表す (according to ～) と、同じく情報源を示す (～ say(s) (that) ...) という機能表現を学習する。

◆Oral Introduction

Currently, there are more than 1,000 World Heritage Sites in the world. How many World Heritage Sites have you visited? Which World Heritage Site are you most interested in? In this lesson, let's create a website about the World Heritage Site you want to introduce. (45 語)

〈発展編〉 World Heritage Sites

Many of you are, I am sure, familiar with the world heritage sites. But I wonder how many of you are aware of the beginnings and how many there actually are. Let me give you a simple history lesson. UNESCO is the organization that selects the sites for the World Heritage Site List. UNESCO, which stands for educational, scientific and cultural organization, is a part of the United Nations and was established in 1945. After the destruction and ruin of the two world wars, it was established to promote peace and understanding among people around the world. The successful relocation of the temples of Abu Simbel in the 1960s made people realize that there were places all over the world that were valuable and needed protection. Places of great importance and value, such as a forest, a mountain, desert, a building or a city, are selected for preservation and protection from armed conflict, purposeful destruction, economic reasons, natural disasters and climate change. There are three types of World Heritage sites: cultural, natural and mixed. In order to be put on the list, the country where the site is located must nominate it. Then the site is examined by international experts to see if it should be included. Finally, the World Heritage Committee takes a vote. As of June 2020, there are a total of 1,121 sites listed across 167 countries.

Did you know that Italy and China have the most listed? (241 語)



◆解答

- A
- 1) c. Mont-Saint-Michel
 - 2) d. the Taj Mahal
 - 3) b. Great Wall
 - 4) e. the Statue of Liberty
 - 5) f. the Pyramids of Giza
 - 6) a. Angkor Wat
- B
- 1) France
 - 2) India
 - 3) Egypt
 - 4) China
 - 5) Cambodia
 - 6) the United States

音声のポイント

- A
- Angkor Wat** /æŋkɔːrwɑː(:)t|-wɔːt/
ここでは第2要素(Wat)に第1強勢が置かれる。
 - Mont-Saint-Michel** /mɔːŋsæŋmiːʃɛl/
Michelの最後の母音にアクセントが置かれる。
 - Taj Mahal** /tɑːdʒməhɑːl|tɑːʒ/
Mahalの最後の母音にアクセントが置かれる。
 - statue** /stætʃuː/ スタチュアー/

第一音節にアクセントが置かれる。

f. **Pyramid** /pɪrəˈmɪd/ ピラミッド/
アクセントの位置に注意。

B

3) **Egypt** /iːdʒɪpt/ イーヂプト/
発音に注意。

5) **Cambodia** /kæmbəʊdiə/ キャンボウディア/
発音に注意。

◆解説

1) **Mont-Saint-Michel**: モン・サン・ミシェル
フランス西海岸、サン・マロ湾上の小島、及びそこに建てられた修道院である。1979年に「モン・サン・ミシェルとその湾」として世界文化遺産に登録されている。満潮時は海に浮いているように見える。

2) **Taj Mahal**: タージ・マハル
インドにある建築物で1983年に世界文化遺産に登録された。ムガル帝国第5代皇帝が、亡くなった妻のために真っ白な大理石で建てた墓であり、「世界一美しい霊廟」といわれている。

3) **the Great Wall**: 万里の長城
中国にある世界一長い防御施設であり、外敵の侵入を防ぐために秦の始皇帝時代から明朝の時代にまで渡って建造された。その長さは日本列島の7倍ほどになる。1987年に世界文化遺産に登録された。

4) **the Statue of Liberty**: 自由の女神像
アメリカのニューヨーク港内マンハッタン島から約3km離れたリパティ島にある自由と平等を象徴する像である。アメリカ独立100周年を記念し、友好の印としてフランスからアメリカに贈られた。足元には引きちぎられた鎖と足かせがあり、それを女神が踏みつけている。冠の7つの突起物は7つの大陸と7つの海(全世界)の自由を表している。寄贈されたときは銅色だったが、海岸に設置されているため酸化して現在の緑色になった。正式名称は「Liberty Enlightening the World(世界を照らす自由(の女神))」であり、1984年に世界文化遺産に登録された。

5) **the Pyramids of Giza**: ギザのピラミッド
エジプト、ギザの砂漠に建設された、クフ王、カフラー王、メンカウラー王の三つのピラミッド

Key Expressions
ペアワークで練習しよう

Listening
音声を聞いて、空欄を埋めよう

1
Why do you want to go to Mont-Saint-Michel?
I want to go there to take beautiful pictures.

2
Have you ever visited Mont-Saint-Michel?
Yes. It is one of the best places to visit in France.

Listening
2人か、世界遺産について話しています。

	A	B	C
行きたい世界遺産は？	1. サグラダ・ファミリア 2. ペルサイユ宮殿 3. 自由の女神像	1. 法隆寺 2. 万里の長城 3. マチュ・ピチュ	1. アンコールワット 2. タージ・マハル 3. ケルン大聖堂
何のために？	1. 歴史を知るため 2. 美しい写真を撮るため 3. すばらしい眺めを楽しむため	1. 歴史を知るため 2. 美しい写真を撮るため 3. すばらしい眺めを楽しむため	1. 歴史を知るため 2. 美しい写真を撮るため 3. すばらしい眺めを楽しむため
いつ訪れた？	1. 3年前 2. 15年前 3. 30年前	1. 春 2. 夏 3. 冬	1. ずっと前 2. 少し前 3. 昨年
どこの国にある？	1. フランス 2. スペイン 3. アメリカ合衆国	1. 中国 2. 日本 3. ベルギー	1. インド 2. カンボジア 3. ドイツ

USEFUL EXPRESSIONS

- 1. The Great Wall was built to protect the country against enemies.
- 2. I'm excited to see the Taj Mahal.
- 3. The Acropolis was built in order to resist enemy attack.
- 4. I have a dream to visit Machu Picchu.

World and France
● 1500 A.D. 1685-1686 / A.D. 650 (approx.) / in the 17th century (17世紀) / ancient (古代) / UNESCO (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization) (ユネスコ 国際教育科学文化機関)

I want to go there to walk on the ancient stones.

(古代の石の上を歩くためにそこへ行きたいです。)

2. Why do you want to go to Angkor Wat?
(なぜアンコール・ワットへ行きたいのですか?)

I want to go there to see the old temples.

(古い寺院を見るためそこへ行きたいです。)

◆指導上の留意点

〈to + 動詞の原形〉「～するために」(目的)が、質問に対する答えの重要な部分であることを意識させ、やり取りの際にその部分をゆっくりと強調して答えるよう指導する。

◆活動展開例

ペアでジャンケンなどをして、質問する側と答える側に分けてやり取りをする。そのあと役割を交替する。

★活動プラス1

教科書に書かれているものではなく「自分が行きたい世界遺産の場所」についての対話を練習させる。そのあと、代表ペアを指名し、クラスで対話をシェアする。自分の行きたい世界遺産の場所を紙に書かせ、その紙を違うペアで交換し合いながら制限時間内で自由に活動させてもよい。

2
◆場面

翔とメアリーが、モン・サン・ミシェルについて「フランスで訪れるべき最高の場所の一つ」であることを話している。

◆指導上の留意点

まずは全体でモデル文をリポートし、対話の内容や単語の発音、イントネーションを理解させる。名詞 + to 不定詞「～するための名詞」というかたまりを意識させる。

◆モデル文解説

「モン・サン・ミシェルを訪れたことがある？」という問いに対し、〈to 不定詞〉の形容詞的用法「～するべき…」を用いて答えている。one of the best places to visit in France は、one of the best places (that) you should visit in France という関係詞を用いた文とほぼ同義である。

◆文法の解説

〈to 不定詞〉の形容詞的用法は、〈名詞 + to 動詞の原形〉のかたちで、「～する(ための、べき、という)名詞」という意味を表す。この文では、〈to 不定詞〉で修飾される名詞との関係は〈目的語の関係〉であったが、これ以外にも以下に示すように、(a)〈前置詞の目的語の関係〉、(b)〈主語の関係〉、(c)〈同格の関係〉がある。

- (a) Bob has a lot of friends to play with.
(ボブは遊び友だちが多い。)
- (b) You need a friend to support you.
(君には支えてくれる人が必要だ。)
- (c) I have no time to play tennis.
(僕はテニスをする時間がない。)

◆表現の解説

- ・ Have you ever 過去分詞～? 「(今まで)～したことがありますか?」疑問文・否定文・最上級の文で用いられる ever 「今まで、かつて、どんなときでも」は訳さない方が自然な日本語になることが多い。
- ・ visit ~ 「～を訪れる」(他動詞)
- ・ one of the 最上級 + 複数名詞 「最も…な名詞のうちの1つ」

Pair Work

◆解答例

1. Have you ever visited the Great Wall?
(万里の長城を訪れたことがある?)
Yes. It is one of the best places to visit in China.
(ええ。そこは、中国で訪れるべき最高の場所の1つです。)
2. Have you ever visited Angkor Wat?
(アンコール・ワットを訪れたことがある?)
Yes. It is one of the best places to visit in Cambodia.
(はい。そこは、カンボジアで訪れるべき最高の場所の1つです。)

◆指導上の留意点

指示された語を下線部に当てはめることだけに集中するのではなく、〈to + 動詞の原形〉は前の名詞を修飾する働きをしており、〈名詞 + to + 動詞の原形〉で一つのかたまりをつくっていることを意識させる。

Key Expressions

1
◆場面

翔とメアリーが、モン・サン・ミシェルを訪れる「目的」について話している。

◆指導上の留意点

まずは全体でモデル文をリポートし、対話の内容や単語の発音、イントネーションを理解させる。ただ読むだけではなく、そこに感情をのせて会話するように指導する。

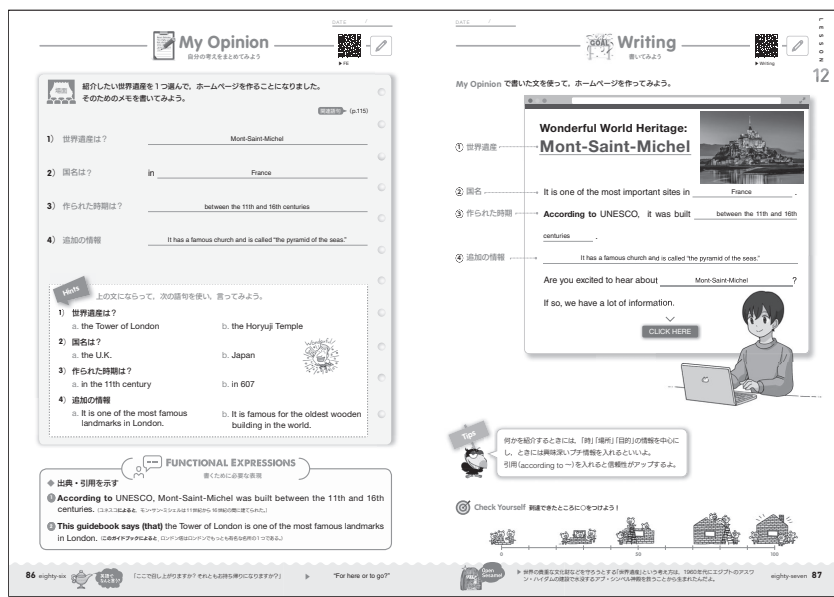
◆モデル文解説

「なぜモン・サン・ミシェルに行きたいの?」という問いに対し、〈to 不定詞〉の副詞的用法(目的)「～するために」を含む文を用いて答えている。Why で始まる疑問文の応答文は Because で始めなければならないと信じて疑わない生徒が多いが、応答文が「理由・原因・目的および意図や動機」を表していれば because は必ずしも必要ない。

Pair Work

◆解答例

1. Why do you want to go to the Great Wall?
(なぜ万里の長城へ行きたいのですか?)



教科書 86 ページ

My Opinion

◆場面の解説

紹介したい世界遺産を一つ選んで、ホームページを作る。

◆指導上の留意点

ここからは「自分の考え」を表現させることが大切なポイントとなる。今までに学習したものを引用することに問題はないが、それ以外で自分が興味のある世界遺産について考える時間を与えてから取り組ませたい。教科書から探すのではなく、教科書の内容を足場としてそこから飛び越えて「調べ」、「表現する」ことに重きをおきたい。

◆活動例

例と Hints を全体で確認する。

(例) Mont-Saint-Michel

Teacher: What is the name of the World Heritage Site?

Students: Mont-Saint-Michel.

Teacher: Where is it?

Students: In France.

Teacher: When was it built?

Students: Between the 11th and 16th centuries.

Teacher: What additional information do you have?

Students: It has a famous church and is called "the pyramid of the seas."

そのあと、ペアでジャンケンなどをして、質問する側と答える側に分かれ Hints を用いたやり取りを行う。a. the Tower of London と b. the Horyuji Temple で役割を交替する。

ペアで活動させたあと、発音の確認をするために Hints の a. と b. について、最初の例のように教員が質問し生徒が答える形式をとるとよい。

◆ Hints

a.

- 1) the Tower of London (ロンドン塔)
- 2) the U.K. (イギリス)
- 3) in the 11th century (11世紀に)
- 4) It is one of the most famous landmarks in London.
(ロンドンでもっとも有名な名所の1つです。)

b.

- 1) the Horyuji Temple (法隆寺)
- 2) Japan (日本)
- 3) in 607 (607年に)
- 4) It is famous for the oldest wooden building in the world.
(世界最古の木造建築として有名です。)

◆見本例

(例 1)

- 1) Himeji-jo (姫路城)
- 2) Japan (日本)
- 3) in 1346
- 4) This castle is also called "Hakuro-jo" because its walls are all pure white.
(この城は、壁がすべて真っ白なため、「白鷺城」とも呼ばれる。)

(例 2)

- 1) the Sagrada Familia (サグラダ・ファミリア)
- 2) Spain (スペイン)
- 3) It will be completed in 2026.
(2026年完成予定)
- 4) It is a large unfinished building designed by Antoni Gaudi.
(アントニ・ガウディによって設計された未完成の大きな建築物です。)

(例 3)

- 1) the Palace of Versailles (ベルサイユ宮殿)
- 2) France (フランス)
- 3) in the 17th century (17世紀に)
- 4) He (King Louis XIV) built this grand palace to show off his power.
(彼(ルイ14世)は自分の権力を見せびらかすために、この豪華な宮殿を建てました。)

(例 4)

- 1) Cologne Cathedral (ケルン大聖堂)
- 2) Germany (ドイツ)
- 3) between the 13th and 19th centuries (13~19世紀に)
- 4) It is famous for its Gothic architecture and the tallest twin-spired church in the world.
(ゴシック風の建築と世界で最も高い2つの尖塔を持つ教会として有名です。)

(例 5)

- 1) the Taj Mahal (タージ・マハル)
- 2) India (インド)
- 3) in the 17th century (17世紀に)
- 4) It is a white marble building built by an Indian emperor in memory of his wife. It is said that it is one of the world's most beautiful buildings.
(それはある皇帝が妻のために建造した白い大理石の建物です。世界で最も美しい建物の1つと言われています。)

(例 6)

- 1) Moai Statues (モアイ像)
- 2) Chile (チリ)
- 3) around the 10th century (10世紀頃)
- 4) Moai Statues are located on the South Pacific called Easter Island. It is said that there are about 1,000 moais.
(モアイ像は、イースター島と呼ばれる南太平洋上の島にあります。約1,000体のモアイ像があると言われています。)

FUNCTIONAL EXPRESSIONS

◆解説

〈出典・引用を示す〉

情報を述べる場合は、その引用先を述べると信頼性がアップする。そのための表現として、①〈according to ~〉「～によると」や A says (that) ~「Aによると」といった表現を用いるとよい。

通例、情報源になるものは権威のあるものと見なされるものがくる。according to ~ の例文では、UNESCO がそれにあたる。第三者の意見を紹介する場合、according to Dr. Scott のように使い、opinion は用いない(× according to Dr. Scott's opinion)。これを知らず、according to me や according to my opinion とする生徒がいるので、そのような場合は in my opinion や I think のように表現することに注意を喚起したい。なお、②の A says (that) の構文は、according to を話し言葉で言いかえたものであり、この構文の主語には書物・手紙・掲示・規則などを表す語句が置かれ、「～と書いてある」、「～を示している」、「～とある」という意味を表す。二つ目の例文では、this guidebook が書物の例として挙げられている。

◆補充例文

1. **According to** another report, the Nazca Lines were drawn to pray for rain.
(一説によると、ナスカの地上絵は雨乞いのために描かれた。)
2. **The article says that** the coal mine of Gunkanjima was approved as a UNESCO World Heritage Site in 2015.
(その記事によると、軍艦島の炭鉱は2015年にユネスコの世界遺産地域として採択された。)
3. **According to** this book, Yakushima has a lot of rainfall throughout the year.
(この本によると、屋久島は年間を通じて雨量が多い。)
4. **The newspaper says that** there are 51 World Heritages in danger now.
(新聞によると、現在51の世界遺産が危険にさらされている。)



「ここで召し上がりますか？ それともお持ち帰りになりますか？」 ▶ “For here or to go?”

◆解説

ファストフード店で客から注文を受けた際に店員が客に尋ねる定形表現。本来、接客には Would you like to eat it here or take it out? や Is that (または、Will that be) for here or to go? のような丁寧な言葉使いが期待される場所であるが、For here or to go? は商品を早く提供するために生まれた簡潔な表現と考えられる。For here or to go? と尋ねられた場合、(For) Here, please. または、To go, please. と返答する。なお、to go は通例名詞のあとに置かれ、持ち帰り用を示す。(例：Two cheeseburgers to go, please. 「チーズバーガーを2つ持ち帰りしてください。」)

教科書 87 ページ

Writing

◆指導上の留意点

ホームページや掲示物などの作成には、見やすさと簡潔さが大切である。そのため、短い文章でいかに相手をひきつけるか、その内容を興味深い

ものにすることが重要である。今回は「追加の情報」を工夫させたい。「追加の内容」のあとには Are you excited to hear about ~? 「～のことを聞いてワクワクしますか?」(to 不定詞の副詞的用法、感情の原因「～して」と続く。ワクワクする情報となっているかどうかを生徒に確認させ、必要であれば「追加の情報」を修正したり、さらに内容を追加して、簡潔ながらも興味深いホームページの作成を目指したい。

◆解説(語句・表現)

- ・ according to ~ 「～によると」
- ・ is called ~ 「～と呼ばれている」
- ・ be excited to + 動詞の原形 「～してワクワクする」
- ・ hear about ~ 「～について聞く」
- ・ if so 「もしそうなら」

◆日本語訳例(教科書巻末 p.117)

すばらしい世界遺産
モン・サン・ミシェル
それは、フランスで最も重要な遺跡の1つです。ユネスコによると、11世紀から16世紀の間に建てられました。そこには有名な教会があり、「海のピラミッド」と呼ばれています。モン・サン・ミ歇尔について聞いて、ワクワクしませんか？もしそうなら、私たちにはたくさんの情報があります。

◆活動の留意点

教科書の下線部を埋めるだけの作業にならないように注意したい。生徒にワークシート等を配布し、ホームページ全体を書かせることよい。全文を書かせることによって、生徒は今まで学んだ文法や語彙、表現を復習することができる。また、字体や文字サイズ、色などを工夫したり、絵や写真を自由に盛り込んで、その生徒オリジナルの、他者の目を引くホームページを作成するよう生徒に促したい。教科書の見本どおりではなく、語彙やレイアウトなどを自由にアレンジしてもよい旨も伝えておくことよいだろう。できあがったホームページはクラスに掲示したり、グループの代表作をICTを用いて全体でシェアするとよい。

◆Hints

a. Fantastic World Heritage: the Tower of London

It is one of the most important sites in the U.K.

According to UNESCO, it was built in the 11th century.

It is one of the most famous landmarks in London.

Are you excited to hear about the Tower of London?

If so, we have a lot of information.

〈訳例〉

すばらしい世界遺産：ロンドン塔
それはイギリスで最も重要な場所の1つです。ユネスコによると、それは11世紀に建設されました。ロンドンで最も有名な名所の1つでもあります。ロンドン塔のことを聞いてワクワクしますか？もしそうなら、たくさんの情報があります。

b.

Awesome World Heritage: the Horyuji Temple

It is one of the most important sites in Japan.
UNESCO says that it was built in 607.

It is famous for the oldest wooden building in the world.

Are you excited to hear about the Horyuji Temple?

If so, we have a lot of information.

〈訳例〉

すばらしい世界遺産：法隆寺
それは日本で最も重要な遺跡のうちの1つです。ユネスコによると、それは607年に建設されました。世界最古の木造建築として有名です。法隆寺のことを聞いて、ワクワクしませんか？もしそうなら、私たちにはたくさんの情報があります。

◆見本例

(例1)

Wonderful World Heritage: Himeji-jo

It is one of the most important sites in Japan.
According to UNESCO, it was built in 1346.

This castle is also called “Hakuro-jo” because its walls are all pure white.

Are you excited to hear about Himeji-jo?
If so, we have a lot of information.

〈訳例〉

すばらしい世界遺産：姫路城
それは日本で最も重要な遺跡のうちの1つです。ユネスコによると、それは1346年に建設されました。この城は、壁がすべて真っ白なため、「白鷺城」とも呼ばれます。姫路城のことを聞いて、ワクワクしませんか？もしそうなら、私たちにたくさんの情報があります。

(例2)

Wonderful World Heritage: the Sagrada Familia

It is one of the most important sites in Spain.

According to UNESCO, it will be completed in 2026.

It is a large unfinished building designed by Antoni Gaudi.

Are you excited to hear about the Sagrada Familia?

If so, we have a lot of information.

〈訳例〉

すばらしい世界遺産：サグラダ・ファミリア
それはスペインで最も重要な遺跡のうちの1つです。ユネスコによると、それは2026年に完成予定です。アントニオ・ガウディによって設計された未完成の大きな建築物です。サグラダ・ファミリアのことを聞いて、ワクワクしませんか？もしそうなら、私たちにたくさんの情報があります。

(例3)

Marvelous World Heritage: the Palace of Versailles

It is one of the most important sites in France.

According to UNESCO, it was built in the 17th century by King Louis XIV.

He built this grand palace to show off his power.

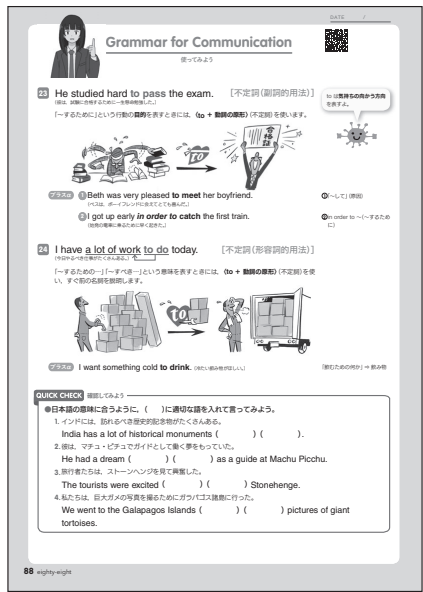
Are you excited to hear about the Palace of Versailles?

If so, we have a lot of information.

〈訳例〉

すばらしい世界遺産：ベルサイユ宮殿
それはフランスで最も重要な遺跡のうちの1つ

教科書 88 ページ



Grammar for Communication

23 He studied hard **to pass** the exam.
(彼は、試験に合格するために一生懸命勉強した。)

◆解説
[不定詞(副詞的用法)]

副詞的用法の(to不定詞)は、主節に何らかの情報を加えるために使われる。キーセンテンス**23**では、主節(He studied hard)に(to不定詞)(to pass the exam)を続けると、「試験に合格するために」という目的を表す。副詞的用法は修飾語句であるため、名詞的用法と違い、(to不定詞)を省略しても文が成り立つことに注意したい。

◆イラストの解説

たくさん本に囲まれて勉強する男性(左イラスト)がいて、その行きつく先・到達点が「試験に合格する」(矢印の右側イラスト)ということを示している。はちまきをしているハートマークは

彼の心を示しており、矢印はその向かう先(目的)を表してしている。

◆指導上の留意点

to不定詞が主節の動詞を修飾して「~のために」という行動の目的の意味を表すことを解説したうえで、文の前半の行為を示す部分(He studied hard)と不定詞の部分(to pass the exam)を分けて練習するとよい。

◆板書例

He studied hard.
Why did he study hard?
To pass the exam.
He studied hard **to pass** the exam.
↑
(彼は試験に合格するために一生懸命勉強した。)

◆補充例文

1. We use a dictionary **to study** English.
(私たちは英語の勉強をするために辞書を使います。)
2. Eri wants a computer **to play** games.
(絵里はゲームをするためにコンピュータを欲しがっています。)
3. He went to Kyoto **to visit** old temples.
(彼は古寺を訪れるために京都に行きました。)

プラスα

- ① Beth was very pleased **to meet** her boyfriend.
(ベスはボーイフレンドに会えてとても喜んだ。)

◆解説

〈形容詞 + to不定詞~〉は、あることに関する気持ちや感情を表している。不定詞以下はベスが喜んだ原因を示す。この型は典型的に一人称主語をとり、話し手や主語の喜びの気持ち(I'm glad [happy / pleased / delighted / relieved など])や、驚き・残念な気持ち(I'm surprised [amazed / shocked / sorry / sad / disappointed など])などの感情を表す。

◆指導上の留意点

to不定詞は「~して」という意味で原因を表し、

happy, pleased, surprisedなど特定の形容詞とむすびについて使われることに注意させる。

◆補充例文

1. I'm glad **to see** you.
(お会いできてうれしいです。)
2. I'm sorry **to trouble** you.
(迷惑をかけてごめんなさい。)
3. I was happy **to eat** an ice cream.
(アイスを食べて嬉しかった。)

プラスα

- ② I got up early **in order to** catch the first train.
(始発の電車に乗るために早く起きた。)

◆解説

to不定詞にはさまざまな用法や意味があるため、「目的」の意味をはっきり伝えるためにin orderをつけることがある。

◆指導上の留意点

不定詞にin orderがつくと、目的の意味を強調するとともに、in orderがつかない文よりも硬い改まったニュアンスになる。

語法ノート⑧
目的の意味をはっきり表すには

以下の例が示すように、不定詞を含む文は場合によって曖昧になることがある。

He changed his mind **to go to college**.
①彼は大学に行くために(何かについての)自分の考えを変えた。

He changed his mind **to go to college**.
↑
②彼は大学に行くという考えを変えた。

He changed his mind **to go to college**.
↑
このような場合、①の目的の意味をはっきりさせるためにin order toを使うとよい。

◆補充例文

1. She learned Japanese **in order to** understand haiku.
(彼女は俳句を理解するために日本語を学んだ。)

2. I ran as fast as possible **in order to** be in time for the last train.
(終電に間に合うように思い切り速く走った。)
3. My father is working hard **in order to** buy a house for us.
(私の父は家を買うために一生懸命働いている。)

●その他の副詞的用法

1. 〈形容詞 + to不定詞〉

プラスα①では、感情を表す形容詞を修飾する不定詞(感情の原因・理由を表す)を学習したが、主節の形容詞を修飾する用法には、この他にも「判断の根拠を表す用法」や「性質を限定する用法」などがある。

- (a) You are very kind **to say** so.
(そう言ってくれてありがとう。)
[判断の根拠「~するとは」]
- (b) This river is dangerous **to swim** in.
(この川は泳ぐには危険である。)
[性質の限定「~するには(…だ)」]

(b)は形容詞 dangerousの範囲を限定し、泳ぐには危険であるという意味を表す。つまり、この川で泳ぐのは危険であるが、魚釣りや他の行為は危険ではないという含みになる。

2. 結果を表す不定詞

- (c) My grandmother lived **to be** eighty-five.
(私の祖母は85歳まで生きた。)
- (d) George grew up **to be** a famous actor.
(ジョージは成長して有名な俳優になった。)
- (e) He tried hard **only to fail**.
(彼は一生懸命努力したが、失敗した。)

この三つの例は、主節の行為・状態の結果として起こったことを不定詞が示している。(e)では、望んでいたこととは違った残念な結果を表わしている。このような場合、不定詞の前にonlyがつくことが多い。(※ onlyの前にカンマを入れることもある。)

3. 条件を表す不定詞

- (f) Beth will be very pleased **to meet** her boyfriend.
(彼女はボーイフレンドに会えたら喜ぶでしょう。)

LESSON 12 教科書 pp.83-88

プラスα①の例文との違いは will be だけである。この例からも不定詞がどんな意味になるかは主節の時制(または法)に依存していることがわかる。(f)では主節の will が未来を表しているのに、不定詞以下が条件を表すことになる。あとで述べるように、不定詞の未来志向的、個別的、仮定的な意味合いが主節の未来の意味合いと調和して、条件の意味を表すようになると考えられる。

4. 独立語句と連語表現

to 不定詞の副詞的用法には、以下のような「独立語句」や「連語表現」がある。

◇独立語句: to be honest(正直に言う)と、to tell the truth(実を言う)と、so to speak(いわば)、to begin with(まず第一に)

◇連語表現: be eager to ~「しきりに~したいと思う」、be likely to ~「~しうである」、be ready to ~「喜んで~する」、be sure to ~「きっと~する」、be willing to ~「いやがらないで~する、~するのをいとわない」

24 I have a lot of work to do today.
(今日やるべき仕事がたくさんある。)

◆解説

[不定詞(形容詞的用法)]

キーセンテンス24では、不定詞の形容詞的用法を学習する。この例文の不定詞は、「~するための、~すべき」という意味で、後ろからすぐ前の名詞(work)を修飾する働きをしている。なお、この文では、a lot of work が to do の目的語の働き(do a lot of work)をしていることに注意したい。work は前から a lot of により修飾されると同時に、後ろから to do にも修飾されている。不定詞が形容詞と違うのは、形容詞が一般に前から後ろの名詞を修飾するのに対して、不定詞はつねに名詞の後ろに置かれる点である。

この文を読む時には、前から「私は仕事を持っている→どんな?→今日するための」⇒「私は今日やるべき仕事がたくさんある」のように理解するのがよい。

◆イラストの解説

たくさん荷物を前にして、これからこの荷物をトラックに積みこまなければならない、つまり、やるべき仕事がたくさんあるということが描かれている。to 不定詞のイラストは心がすでに仕事

に向いていることを表している。

◆指導上の留意点

日本語で「仕事」といえば、当然「すること」と理解するので、生徒からみるとこの文の不定詞は不要ではないかと思うかもしれない。一方、英語は work to do, a book to read のように、名詞の後ろに言語をつけて情報を付け足していくのが好きな言語である。不定詞以下はなくても文意は十分通じると思われるが、この文のように不定詞をつけるのが英語的といえる。「不定詞の形容詞的用法」というと難しそうな印象を持つ生徒もいるかもしれないが、名詞の後ろに置かれた語句が名詞の情報をつけ足していると考えれば、これまで見てきた a book on the shelf (名詞+場所)などと基本は同じであることを理解させたい。

◆板書例

I have a lot of work to do today.
 名詞 to + 動詞の原形
 ↑
 (今日はやるべき仕事がたくさんある。)

「~する(ための、べき)…」というとき、(to + 動詞の原形)を使う。

◆補充例文

1. I have a lot of letters to write.
(私は手紙をたくさん書かなくてはならない。)
2. There are many places to visit in Tokyo.
(東京には訪れるべき場所がたくさんあります。)
3. Do you have enough to eat?
(何か食べるものを十分もっていますか?)

プラスα
 I want something cold to drink.
 (冷たい飲み物がほしい。)

◆解説

この文では、不定詞はすぐ前の(代名詞+形容詞)のかたまり(something cold)を修飾している。「飲むための何か冷たいもの」→「冷たい飲み物」の意味になる。

◆指導上の留意点

something は後ろから cold と to drink の二

つから修飾されていること、something cold は to drink の目的語の働きをしていることの二つに気づかせたい。

◆補充例文

1. Please give me something hot to drink.
(私になにか温かい飲み物をください。)
2. I have something interesting to read.
(私はおもしろい読み物もっている。)
3. I have something important to say to you.
(あなたに言うべき重要なことがあります。)

語法ノート⑱
 どうして cold something to drink と書けないか

プラスαでは I want something cold to drink. という表現を取り上げた。この文に見られるように、-thing のつく語(something, anything など)に形容詞をつけるときには必ず後ろにつけるように中学時代から習ってきた。実際、cold something ということはできない。どうして書けないのだろうか。

形容詞には、通例、名詞の前に置かれ名詞を修飾する限定用法と、動詞のあとに置かれ補語になる叙述用法の二つの働きがある。限定用法はその名のとおり、類を限定する働きがある。例えば、red roses という表現は、いろいろな色のバラがある中で、赤い色のバラに限定している。英語ではこのように形容詞を通常は名詞の前につけるが、名詞の前に形容詞が置かれた場合、red roses の例のように、分類的・永続的な意味を表す。red roses は今日も明日も赤い色をしていることは間違いない。

something cold の表現に戻ると、この表現中の名詞 something はバラのような具体的なものではなく、漠然としてよくわからないものを指す。(だから、不定代名詞という。)つまり、実態のよくわからないものを分類したり、漠然としたものに永続的な意味を与えることはできないということになる。そこで英語では、something に形容詞をつけるときには形容詞を名詞の後ろに置く。英語では名詞の後ろに修飾語句をおくと、一時的・具体的な意味合いになるからである。something cold to drink にしても、Lesson 13 で取り上げる分詞の形容詞用法(the cat sleeping on the roof,

games made in Japan)でも、Lesson 14 で取り上げる関係代名詞(a friend who speaks Thai very well, the computer which I bought last week)でも、名詞の後ろに修飾語句がつくと具体性が増すことになる。修飾語句はどんなに長くても名詞の前に置く日本語との際立った違いの一つといえる。

●その他の形容詞的用法

(代)名詞+不定詞+前置詞

不定詞に修飾される名詞が前置詞の目的語の場合

- (a) Mito is a comfortable city to live in.
(水戸は住み心地のよい町です。)
- (b) Bob has a lot of friends to play with.
(ボブは遊び友だちが多い。)
- (c) Do you have something to cut it with?
(それを切るものを持っていますか?)

語法ノート⑳
 不定詞と修飾される名詞との関係

英語を読むときには、不定詞と不定詞が説明する名詞とのあいだの関係に注意を払う必要がある。キーセンテンス24とプラスαでは、不定詞と修飾される名詞との関係は(a)のように目的語の関係であった。

- (a) Please give me something to read.
(X read something の関係)
これ以外にも以下に示すように、同格の関係と主語の関係がある。
- (b) I have no time to play tennis.
(私はテニスをする時間がありません。)
(同格の関係)
- (c) You need a friend to support you.
(君には支えてくれる人が必要です。)
(主語の関係)

(b)では、どんな時間かというテニスをするための時間ということで、不定詞は直前の名詞の内容を説明している。(c)では、あなたを支えてくれるのは friend なので、名詞と不定詞は主語と動詞の関係になっていることがわかる。ちなみに、主語の関係を表す不定詞は、「~すべき、~するための」と訳さない場合が多い。不定詞の形容詞的用法ならば常に「~すべき」と訳せるわけでないことに注意したい。

Activity Station
4

教科書 pp.90-91

ディスカッションのコツ

4 ディスカッションのコツ

Let's Try 下線部に入る適切な表現も、下の選択肢から選んで、ディスカッションにトライしてみよう。⑤の _____ には、あなたの提案する場所を入れてみよう。

「修学旅行の別行動ではどこに行くかについて話しています。」

1. OK, let's talk about where to go for our school trip in June. 2. ① _____ suggest going to Cosmic Studio Japan. We can go around the park in small groups *all day long. => 100

3. That sounds fun, but "I'm afraid ② _____ to get on the rides. 4. Well, it's not crowded on weekdays.

5. ③ _____ it rains? I'd like to suggest going to the Museum of Natural History. They're now putting on a special exhibition about dinosaurs. => 80

6. Or ④ _____ going to ⑤ _____ I heard it was fantastic. 7. Great. Are there any other ideas?

① I'd like to ② how about ③ what if ④ we will have to stand in long lines

ディスカッションのポイント

1 相手の話をよく聞き、理解すること。聞き手は、相手の話をよく聞いて、自分の意見を述べてよい。

2 相手の意見を尊重すること。相手の意見を尊重し、自分の意見を述べてよい。

3 賛成や反対の理由を述べ、相手の意見を尊重し、自分の意見を述べてよい。

4 会議がうまくいっているか、自分の意見を述べ、相手の意見を尊重し、自分の意見を述べてよい。

Follow Up 次のテーマについてディスカッションしよう。

1 朝晩の涼しい空気を楽しむか 2 気象観測に行きたくて何かを持ってくるか
3 ドラえもんのお宝を探しに行くか

この課のねらい

◆言語活動【ディスカッション】

日常的な話題や社会的な話題について、互いに情報を交換したり意見を出し合ったりして理解を深め、互いの意見や主張を伝え合う活動であるディスカッションのポイント、やり方、必要となる表現を学ぶ。

◆活動の手順

1. ディスカッションとは？

ディスカッションという言語活動の目標を確認する。

2. ディスカッションの例

3人の高校生によって行われる「文化祭で何をするか」というテーマのディスカッション例を見ながら、ディスカッションの流れと、この活動で

多用される表現を確認する。

3. Let's Try

「修学旅行の別行動ではどこに行くか」というテーマで行われるディスカッションを見ながら、下線部に入る適切な表現を考え、自分が行きたい場所を提案する。

4. 「ディスカッション」のポイント

より良い意見を出し合い、ディスカッションを円滑に進めるための注意点を4つあげている。※生徒が自己評価するための「◆ポイントチェック」は、本書 p.303 に掲載。

5. Follow Up

高校生にとって身近なテーマについて、簡単なディスカッションを行う。

ディスカッションとは？

◆指導上の留意点

まず「ディスカッションとは？」にあるディスカッション活動のポイントを生徒に確認させる。①に「意見をまとめること」とあり、さらにディスカッションで重要なことは、②「理由や根拠を示しながら、自分の考えや意見を他者と伝え合うこと」である。

◆解説

ディスカッションは、あるテーマについてグループで意見を出し合い、まとめていくコミュニケーション活動である。意見を出し合う際には、相手の意見を尊重しつつ、適切な理由や根拠とともに自分の考えや意見を述べ、互いの意見の優れている点や改善すべき点を伝え合うことが肝要である。この活動を円滑に行うには、参加者全員が意見を出し合いやすくするために、事前にペアで意見交換をしたり、グループで司会などの役割を決めてあらかじめディスカッションの手順を明確にしておくことが大切である。

ディスカッションの例

◆場面

久美、サラ、マルコの3人が「文化祭で何をするか」について話し合っています。

◆指導上の留意点

「文化祭で何をするか」のテーマについて、久美、サラ、マルコの発言の意味を理解し、太字になっているディスカッションで多用される表現を確認する。

◆日本語訳例 (巻末 p.118)

- では、私たちの文化祭で何をするかについて話しましょう。
- 私は演劇を上演したいと思います。
- いいですね、でも何をやるつもりですか？
- 舞台上で英語劇をしませんか？
- いい案ですね。私は『ハムレット』がいいです。
- いいですね。でも、『ハムレット』はこの学校では2年前に上演されたと思います。私は『ロミオとジュリエット』を上演することを提案します。
- あなたの考えに賛成です。以前、レオナルド・

ド・ディカプリオ主演の映画を見たことがあります。

- 私たち独自の『ロミオとジュリエット』を上演するのはどうですか？私が劇の脚本を書いてもいいですよ。
- それはおもしろいでしょうね！他に何か案はありませんか？

◆解説

1 Let's talk about ~.

〈Let's + 動詞の原形~〉のlet'sはlet usを短くした形であり、「~しよう」を意味する。吹き出しの1と9の発言から、久美はこのディスカッションの参加者でもあり同時に司会を兼ねていることがわかる。

2 I'd like to ~.

I would like to ~の短縮形。話し言葉ではふつう、(I'd like to + 動詞の原形~)と略す。

3 Sounds nice, but ~.

「いいですね、でも~。」と相手の意見を尊重しつつ、相手とは違う自分の意見を伝える表現。

4 Why don't we ~?

相手に「(いっしょに)~しませんか？」と提案する表現。

5 That's a good idea!.

「それはいい考え[アイデア]だ!」と相手の発言に共感を示す表現。

6 Sounds good, but ~.

3の表現と同様、相手の発言を尊重しつつ自分の違う意見を伝える表現。

6 I suggest ~.

〈suggest + 動詞のing形〉で「~することを提案する」の意味。

7 I agree with ~.

I agree with your ideaで、「人(の意見)に賛成する」、「(人)と意見が一致する」。〈agree to + 提案・計画など〉で、「(提案・計画)に同意する、賛成する」。

8 How about ~?

「～はどうですか?」と提案・勧誘する表現。

9 Are there any other ideas?

「他に何かアイデアはありますか?」と他の人の意見を求める表現。

●「ディスカッション」に役立つ表現

○司会者に必要な表現

● 始まりの言葉

Today's theme is ~.

(今日のテーマは～です。)

Let's get started. (始めましょう。)

Let's talk about ~.

(～について話しましょう。)

● 相手の発言を促す

You go first. (最初をお願いします。)

Do you think ~?

(あなたは～と思いますか?)

How about you? (あなたはどうですか?)

What's your opinion?

(あなたの意見はどうですか?)

Can you tell us your opinion?

(あなたの意見を述べてもらえますか?)

What do you think about ~? / Anybody?

(誰か～について意見はありますか?)

● 相手の意見をまとめる

A says ~. (Aは～と言っています。)

A mentions ~.

(Aは～について述べています。)

● 終わりの言葉

It's time to finish. (終わりの時間です。)

Time is up. (時間切れです。)

We have to stop here.

(ここで終了となります。)

○グループメンバーに必要な表現

● 自分の意見を言う

I think ~. (～と思います。)

I believe ~. (～と信じています。)

A might be ~. (Aは～かもしれない。)

I suppose ~. (～と思います。)

In my opinion, ~. (私の意見では～。)

● 同意する

I agree with ~. (～に同意します。)

It is true that ~. (～は本当です。)

I think so, too. (私もそう思います。)

Exactly. (その通りです。)

That's right. (その通りです。)

Definitely. (まったくその通りです。)

A is right. (Aは正しいです。)

● 同意しない

I don't think ~. (私は～とは思いません。)

I have a different opinion.

(私は違う意見です。)

I disagree with ~. (～に反対です。)

That might be true, but ~.

(それは本当かもしれませんが、～。)

● リアクションをする

Indeed! (確かに!)

Interesting. (面白いですね。)

Great! (いいですね!)

Really? (本当に?)

音声のポイント

1 Let's talk about what to do at our school festival.

talk about 自然な会話やくだけた会話では、子音で終わる語の後ろに母音で始まる語がくると連結が起こることがふつうである。ネイティブの発音では、単語の切れ目がないように /トーカバウ(ト)/ のように聞こえる。

what to 破裂音 (/p/, /b/, /t/, /d/, /k/, /g/) が二つ並んだ場合、前の破裂音が落ちる。なお、脱落する子音は、実際は聞こえなくなるだけで、話し手の意識には存在し、口の構えにも残ることに注意したい。

2 I'd like to put on a play.

put on a 自然な会話やくだけた会話では、子音で終わる語の次に母音で始まる語がある場合、両者をひとまとめにつなげて発音されることがある。ここではその現象が連続(put on, on a)しており、ネイティブの発音では /ブロンナ/ のように聞こえる。

3 Sounds nice, but what are we going to do?

日本語のズの子音に相当する破擦音の /dz/ は sounds 「～(のように)聞こえる」や birds(鳥)のように、d で終わる動詞の三人称単数現在形の語末や d で終わる名詞の複数形の語末に現れる。

英語のネイティブは /dz/ を /d/ + /z/ の二つの音とみなしているが、日本人は一つの音のつもりで発音するとよい。

◆活動例

このディスカッションの中でどのような意見が出されているのかを考えさせる。3人のグループを作り、ディスカッションを円滑に進めるための太字部分の表現を確認しながら、音読練習をする。

★活動プラス1

9つめの最後の発言 Are there any other ideas? に続けて生徒に自分のアイデアを考えさせてもよい。いきなり英語で意見やアイデアを出すのが難しい生徒には、日本語でディスカッションを続けることを許容し、積極的に意見を述べるように促してもよい。太字になっている「ディスカッションに役に立つ表現」から流れを導き出せるように指導する。

Let's Try

◆解答

① a. I'd like to

② d. we will have to stand in long lines

③ c. what if

④ b. how about

◆日本語訳例

- では、6月の修学旅行でどこに行くかについて話しましょう。
- コズミック・スタジオ・ジャパンに行くのはどうでしょうか。1日中小さなグループに分かれて園内を回ることができると思います。
- 楽しそうですね、でも乗り物に乗るのに(順番を待って)長蛇の列に並ばないといけなさそうですね。
- えっと、平日は混んでいないです。
- 雨が降ったらどうしますか? 私は自然歴史博物館に行くのはどうかなと思います。今、恐竜特別展示をしています。
- もしくは _____ に行くのはどうですか? す

ごくいいと聞きました。

7. いいですね。他に何か案はありますか?

◆解説

1 where to go 「どこに行くか」

2 go around the park 「園内を歩き回る」
in small groups 「小グループに分かれて」

3 I'm afraid (that) ~ 「残念ですが～ではないかと思います」相手や自分にとって望ましくないことを丁寧に言う表現。接続詞の that はふつう省略する。
stand in (long) line(s) 「(長い)列に並ぶ」
ride 「(遊園地の)乗り物」

5 what if ~? 「もし～したらどうなるだろうか?」
put on ~ 「(展覧会やショー等)を催す」
a special exhibition 「特別展示会」

◆指導上の留意点

まず、「修学旅行の班別行動ではどこに行くか」というテーマについて、マルコ、サラ、久美それぞれの発言の意味を理解する。そのうえで、前後の発言に注意しながら、下線部に入る適切な表現を選ぶように促す。

◆活動例

「修学旅行の班別行動ではどこに行くか」のテーマについて、自分であればどのような理由でどこに行きたいかという質問をクラス全体に投げかける。それから、マルコ、サラ、久美のやり取りを読ませ、下線部に入る表現を考えさせる。その際、まずは個人で考える時間を取り、そのあとペアまたはグループで確認させる。互いの情報を交換したり、意見を出し合ったりすることで、テーマに関する理解を深めることができるであろう。

下線部に入る表現を全体で確認したあとで3人のグループに分けてそれぞれの役割を分担し、読む練習をする。その際には、互いの発言の優れている点や改善すべき点をあげながら情報交換ができてきているか、理由とともに発言がなされているか、相手の意見を踏まえて意見を述べているかを確認させる。

★活動プラス1

このディスカッションの最後の発言には「Are

DAILY CONVERSATION

教科書 p.92

4 「病気やけがをしたとき」の表現 I have a fever.



この課のねらい

①テーマ

体調が悪い時やけがをした時によく使う表現に慣れ、実際に使えるようになることをねらいとしている。

②活動例

- 教科書の基本例文を暗記暗唱する。
- ペアでピーターと彩、医者と蓮に扮して場面ごとの練習をする。
- 教科書 p.92 の「その他の表現」等を利用して、場面①と②以外の会話も行う。

場面①

ピーターが体調の悪い彩を心配して、話しかけている。

◆対話の訳例

ピーター：気分がすぐれない様子だね、彩。大丈夫？

彩：気分がよくないの。のどが痛いの。

ピーター：それは困ったね。医者に診てもらったほうがいいね。すぐよくなることを願っているよ。

◆解説

音声のポイント

- **I have a sore throat.** throat「喉」の母音は二重母音の /óu/ となる。
- **That's tòu bád.** bad を強く長めに発音する。

語句・表現

- **Are you OK?** 「大丈夫ですか？」
OK は okay(よろしい)の別つづり
- **I have a sore throat.** 「喉が痛いです。」
sore throat は「喉の痛み」。sore は炎症などで「ひりひりする」という意味の形容詞。以下のように、I have のあとに痛みや症状を表す言葉がくる。I have a fever「熱がある」/ a headache「頭痛がする」/ a toothache「歯が痛い」/ a cough「咳が出る」/ a runny nose「鼻水が止まらない」/ chills「悪寒がする」/ no appetite「食欲がない」/ a rash「発疹が出ている」/ a sharp / dull pain in the stomach「胃が刺すように痛い/ 胃に鈍痛がある」
- **That's too bad.**
「それはいけませんね。それは困りましたね。それはお気の毒に。」同情を示す表現。
- **You should see a doctor.**
see a doctor「医者に診てもらおう」, 「医者にかかる」, 「医者へ行く」

- **I hope you get well soon.**
get well「(病気が)回復する」「よくなる」

◆その他の類似表現

▶Are you OK? の関連表現

- Are you feeling okay?
「気分はどう?」
- Are you all right?
「大丈夫ですか?」

▶I'm not feeling well. の関連表現

- I feel sick.
「気分が悪いです。」
- There's something wrong with me.
「どうも体の具合が悪い。」
- I feel a bit under the weather today.
I'm in rather poor shape today.
I feel out of it today.
「今日は少し体の調子が悪い。」

▶I hope you get well. の関連表現

- I hope you will get over your illness. /
I hope you will recover (from your illness).
「早く快復されますことを願っています。」
- I hope you will soon be restored to health. /
I hope you will very soon be back in good health. /
I wish you a speedy recovery. /
My prayers for your speedy recovery.
「一日も早く全快されることをお祈りします。」

◆指導上の留意点

You should see a doctor. の should は、Lesson 9 の Grammar for Communication (教科書 p.68) で取り上げたように、「したほうがよい」「～すべきだ」という助言や提案を表していることに気づかせたい。

場面②

咳がとまらない蓮が、病院で受診している。

◆対話の訳例

医者：今日はどうしましたか？
蓮：ひどい咳があります。

医者：そうですか。熱はありますか？
蓮：はい。

◆解説

音声のポイント

• What brings you here today?

語尾にある子音と次の語頭の /j/ の音が互いに影響しあって、もとの音とは違う新たな音になることがある。典型的には、would や could のように d /d/ で終わる単語のすぐ後ろに you のような y /j/ が始まる語がくると、二つの単語がいっしょになって /dʒ チュ/ という発音になる。この文では brings の /z/ と you /j/ がつながって /ʒ/(唇を少し丸め、舌先を歯茎につけず、舌と歯茎の間から「ジ」と声を出す音)になる。

語句・表現

• What brings you here today?

文字通りには、「今日は何の用事があるってここへ来たんですか?」ということだが、「どういったご用件で来られましたか?」という意味で、医者が患者に症状を尋ねる時の決まり文句。

• I see.

I see. は相手の説明を理解していることを表し、「なるほど。」「わかった。」「そうですか。」を意味する会話表現。

◆指導上の留意点

Why did you come here? 「どうしてここに来たのですか?」では直接的で感情的な意味になるため、感情的にならずに理由を尋ねる What brings [brought] you here? は丁寧な意味合いとなる。

その他の表現

1. What seems to be the problem?

What brings you here today? 同様、医者が患者に「どうされましたか?」と病状を尋ねる表現。この他に、What seems to be the trouble? 「どこがお悪いのですか?」、What seems to be the matter today? 「今日はどうされましたか?」、What can I do for you? 「どうなさいましたか?」等の類似表現がある。

2. I sprained my ankle.

sprain は、「(足首やひざ等)を捻挫する」, 「く